



## 学生の無差別の権利に関する 追加情報の入手方法

次の機関へお問い合わせ下さい:

- 在籍校の学校長
- 居住地区のオフィス:

ホノルル地区	
フロントン/カイザー/カラニ複合地域 .....	735-8355
マッキンリー/ルーズベルト/カイク複合地域 .....	735-8355
中央オアフ地区	
アイエア/モアナ/ラドフォード複合地域 .....	421-4263
レイレア/ミラニ/ワイアレア複合地域 .....	622-6432
リーワードオアフ地区	
キャンベル/カボレイ/ワイアナエ複合地域 .....	675-0335
ナナク/パールシティ/ワイパフ複合地域 .....	675-0384
ウインドワードオアフ地区	
カーソル/カフク複合地域 .....	233-5718
カイルア/カラヘオ複合地域 .....	233-5710
ハワイ地区	
ホノカア/コハラ複合地域 .....	775-8895
ケアラケヘ/コナウエナ複合地域 .....	323-0015
ヒロ/ラウパホエホエ/ワイアケア複合地域 .....	974-4535
カウ/ケアアウ/パホア複合地域 .....	982-4252
マウイ地区	
ボードウィン/キングケカウリケ/マウイハイ複合地域 .....	984-8000
ハナ/ラハイナ/ラナイ/モロカイ複合地域 .....	984-8000
カウアイ地区	
カバア/カウアイ/ワイメア複合地域 .....	274-3504

Japanese - EEO

# 障害のある学生の ための、平等な教育 機会

504 条、  
D 項と  
ハワイ法及び規制による無差別権  
利

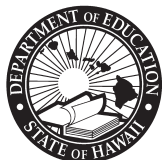


### 省の 504 条コーディネーター:

**Office of Curriculum, Instruction  
and Student Support**  
Student Support Branch  
475 22<sup>nd</sup> Avenue, Bldg. 302  
Honolulu, Hawaii 96816  
Phone: (808) 305-9787

お問い合わせはこちらでも受け付けます:

**Office for Civil Rights**  
**U.S. Department of Education**  
915 Second Avenue, Room 3310  
Seattle, Washington 98174-1099  
Phone: (206) 607-1600



Office of Curriculum, Instruction and Student Support  
Student Support Branch  
Department of Education • State of Hawai'i  
RS 16-1276, April 2016



# 障害のある 学生のための 平等な教育機会



## 目的

このパンフレットは、公立学校において障害のある学生が平等な教育機会を受ける権利の認識を創出する目的でハワイ州教育省によって作成されています。

## 504 条とは何か

504 条とは障害者を保護するための連邦公民権法です。これはアメリカ教育省の公民権室(OCR)により実施されています。



- 1973 年発布されたリハビリテーション法(29 U.S.C. §794 (a))の 504 条では以下を示します。:

**有資格の障害者が、障害を持つという理由だけで、連邦政府の補助を受けているプログラムや活動において、その参加の自由を奪われること、利益の享受を否定されること、差別を受けることを禁止する。**

- 規制 504 条の D 項は公立学校が障害のある学生に障害者を持たない学生と同等の教育を提供することを要求します。

## 504 条は“身体障害”をどのように定義するか

504 条は以下のように個人が障害者であることを定義します:

- 一つまたは複数の主要な生活機能(例えば:自己世話、手動動作、歩行、視覚、聴覚、口述、呼吸、学習、作業)かに実質上制限をもたらす身体的または精神的損傷を持つ。
- このような損傷を負った記録がある、あるいは
- このような損傷を有するものとみなされている。



## 学校の責任とは何か?

504 条 D 項 (34 C.F.R. §104.35 (a))は障害者と考えられる学生を評価することを学校に要求します。障害のある学生に資格が与えられた場合、その学生に関わる団体は評価に基づいた 504 条の計画を取り入れます。この計画は、障害のある有資格学生が障害者を持たない学生と同等の教育を受けることを確保するための配置と適切な便宜を示唆します。

学校は、通常教育プログラムにおいて、有資格学生の障害に対して適切な便宜を執り行う必要があります。適切な便宜は、障害のある学生のニーズを満たすために個別に行われるものとします。

通常育プログラム内の適切な便宜については: 教室の最前列に座る、宿題の条件を緩和する、テスト方法を変更する、テープレコーダー、またはその他の視聴覚機器を使用する、クラスのスケジュールを調整する、修正された教科書や学習練習帳を選択する、行動管理技術を用いる、体系化された学習環境を提供などが挙げられます。

504 条の D 項の意義の範囲内で障害のある、または障害者と考えられる学生の証明、評価、配置に異議を唱える親、保護者や部門代表者は、関連する記録を調査し、公平な聴取を要求し、弁護士をよる代理の元で聴取を受け、公平な聴取決定の見直しを要求するなどができます。



## IDEA と 504 条の関係

個別障害者教育法(IDEA)は米国連邦政府教育省特殊教育部(OSERS)により管理され、障害のある学生に無償かつ適切な公教育(FAPE)を州が提供することを要求する条項も取り入れられています。ハワイ州教育省は特別障害児への無償かつ適切な公教育に対する条項、第 60 章に基づき、これらの要件を履行しています。IDEA(第 60 章)に基づき FAPE に対する要求は、504 条に基づくものより詳細な記述がなされています。障害のある学生は IDEA または 504 条の下での FAPE 対象となることができます。IDEA の下で障害のある学生が対象となる場合には、第 60 章の手順が適用されます。これらの手順は一般的に 504 条の遵守が確保されます。

## 教育省の法令遵守保障

**ハワイ教育省は、誓約、政策、連邦と州の無差別法律への遵守として、省により実施される職業教育を含むあらゆるプログラムや活動などにおいて、個人の人種、色、国籍(限られた英語力を含む)、祖先、障害、性別(性的嫌がらせを含む)、結婚状況、宗教、年齢、逮捕歴、裁判歴による差別を行いません。この無差別政策は、教育省の教育への許可、参加、待遇と、職業教育を含む雇用プログラムと活動に対しても適応されます。**

